

公民(裁判について③)

これまでの日本では、裁判は①_____と②_____がかかりすぎるといふ印象が強かったため、そのような現状を改め、人々が利用しやすい裁判制度にするために③_____改革が進められてきた。その一環として、2009年から④_____制度がスタートした。これは、国民が⑤_____として刑事事件に参加し、裁判官といっしょに被告人の有罪・無罪や刑の内容を決める制度である。④_____制度が導入されたことにより、裁判の内容に⑥_____の視点や感覚が反映されるようになり、⑦_____に対する理解と信頼が深まることが期待されている。また、司法にとって、無実の罪(⑧_____)をいかに防ぐかは最も重要な課題である。それを防ぐためにも、第一審の裁判所の判決に納得できない場合は⑨_____、第二審の裁判所の判決に納得できない場合は⑩_____できる。しかし、日本では⑪_____棄却になることも少なくない。

